

心がゆれる 体がおどる 親子で一緒に楽しもう



豊かな感性を育むために

会長 荒木 尚子

音を含めた映像が生活の中に溢れ、現代の子どもたちは生まれた時から多くの刺激を受けています。むずかる赤ちゃんに電子画像を見せる保護者の姿も見かけます。「音」を「楽しむ」と書いて「音楽」です。楽しい音楽に触れると、子どもたちの心はウキウキしたり、思わず歌ったり、体を動かしたりして弾みます。弾んだ心は、豊かな表現、豊かな感性を育むのではないのでしょうか。

幼児期に心が弾む楽しい音楽に触れる経験を積むために幼稚園や家庭では、何を大切にすべきなのでしょう。本物に触れる機会はあるのか、苦手な分野は避けていないか等、課題も見えてきました。

アンケート調査結果をもとに音楽に親しむ生活や親子のかかわりの豊かな広がりを考えました。親子体験型キャンペーン研修会の成果を生かし、幼児期の音楽環境を見つめていきましょう。

最後になりますが本年度の事業推進にご協力いただいた多くの皆様に感謝申し上げます。